

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 備前市		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒705-8602 岡山県備前市東片上126	
本票作成	部署名：市民生活部 環境課 保全係				
主たる業種	分類コード	98	業種名：地方公務		
事業の概要	地方自治 職員数694人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	備前浄化センター		備前市久々井717-5	
	②	備前市立備前病院		備前市伊部2245	
	③	備前市立吉永病院		備前市吉永町吉永中563-4	
	④	備前市立日生病院		備前市日生町寒河2570-41	
	⑤	クリーンセンター備前		備前市八木山859-4	
⑥	吉永浄化センター		備前市吉永町吉永中388-1		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 113 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度 ( 5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 元 年度)			目標年度 (令和 6 年度)					
	8,340 t CO <sub>2</sub>			7,923 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 元 年度) の排出量					
	①	備前浄化センター		1,003 t CO <sub>2</sub>					
	②	備前市立備前病院		1,158 t CO <sub>2</sub>					
	③	備前市立吉永病院		1,005 t CO <sub>2</sub>					
	④	備前市立日生病院		823 t CO <sub>2</sub>					
	⑤	クリーンセンター備前		691 t CO <sub>2</sub>					
⑥	吉永浄化センター		412 t CO <sub>2</sub>						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> / ( )	CO <sub>2</sub> / ( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 元 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

省エネ改修等効果の高い改修は実施済みとなり、今後は地道な努力が必要なことから現実的に実現可能な数値を目標とした。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を整備し、全庁を挙げて省エネに努める。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
備前市役所本庁	(令和元年度実施分) R2. 2月に新庁舎完成。電灯設備のLED化、空調をガスヒートポンプ式空気調和機等の省エネルギー技術を導入している。
三石出張所	(令和2年度実施分) R3. 3月に建替工事完成。電灯設備のLED化等により将来の二酸化炭素排出量の削減が見込まれる。

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
全公共施設	R4年度に備前市地球温暖化実行計画（事務事業編）を改定し、市所有の公共施設における省エネルギー化の推進、エネルギー使用状況の把握、分析等を実施し温室効果ガス削減に基づく施策を実施する。

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	有	備前市森林計画に沿って通年において備前市内の森林保全を実施する。
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	有	備前市役所本庁舎を含む16の公共施設において太陽光発電パネルを設置。
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ・カーボンマネジメント補助事業により、公共施設2ヶ所の照明や空調などの改修を実施した。
- ・クリーンセンター備前において使用燃料をBDFに変更し、CO<sub>2</sub>を削減することができた。
- ・冷暖房設備の使用電力低減のため、クールビズ・ウォームビズ運動に取り組んでいる。
- ・岡山連携中枢都市圏で市内一般住宅での太陽光発電設備等の導入によるCO<sub>2</sub>削減効果を取りまとめ、クレジット化するプロジェクトの実施を検討予定。